

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 福祉課				内線等	2111
事務事業名	小額資金貸付事業				事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)		
根拠法令等	蒲郡市小額資金貸付要綱				Dその他			

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	低所得者福祉
------	---------------------	-----	--------

事務事業の内容

対象(受益者)	低所得者に対し
手 段	小口資金貸付制度を社会福祉協議会へ委託することによって小額貸付を実施し
想定する成果	低所得者の支援を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
貸付件数	41件		56件		111件	
貸付金額	1,290,500円		2,008,000円		2,164,500円	
貸付償還期限経過状況	51件	1,801,000円	45件	1,633,000円		

成果指標

成果指標名	1件当たり貸付金額	貸付1件当たりの経費
成果指標の説明	貸付金額 ÷ 貸付件数	貸付事務委託料 ÷ 貸付件数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		31,476円				35,857円				19,500円			
成果指標		4,878円				3,571円				1,802円			
事業費	事業費	200				200				200			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	978				981				985			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	978				981				985			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	利用件数は増加傾向にあり、低所得者の生活支援に役立っている。
経済効率性	2	2	2	2	相談及び貸付業務を社会福祉協議会に委託しており、事務経費が安価である。
事務効率性	2	2	2	2	貸付業務だけでなく、介護や多重債務等の生活問題を含めて相談を行うため効率的に対応している。
必要性	2	3	2	2	手続きも容易であり、緊急的に必要な生活費を貸付けるため、低所得者への生活支援に役立っている事業である。
小計	8	9	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	10	9	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	小額資金貸付は、市からの預託金2,500,000円を原資として社会福祉協議会が委託を受けて実施しており、緊急資金として低所得者に対し1件50,000円以内で貸付しており、生活支援に必要な事業となっている。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

<p>前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」</p> <p>平成16年度末に償還期限が経過したものが、43件1,531,000円あり、未返済者に対する督促等の方法を検討する必要がある。</p> <p>上記改善点の実施状況</p> <p>未償還者に対しては、郵送による督促を年2回実施、また、生活保護を受給している世帯で滞納している場合は、生活保護係に依頼し、担当者より償還指導を行い、償還に繋げている。</p>

今後さらに改善すべき点

貸付件数の増加の原因の一つは、生活保護者への一時貸付であり、生活保護貸付常習者への対応を生活保護のケースワーカーと精査したい。

平成21年度予算に反映する項目

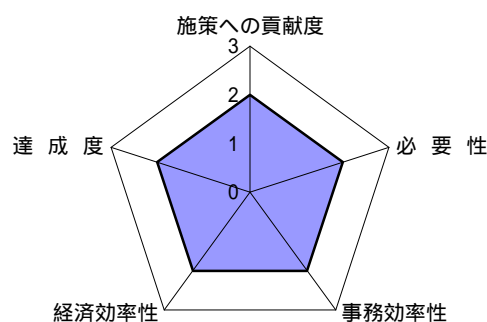
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点